

こんにちは。ロニー・アレキサンダーです。「ポーポキ通信」が遅くなりましたことをお詫びします。報告すべきことはたくさんありますが、今回はその一部だけになります。お許してください。

### 『ポーポキ、平和ってなに色？ ポーポキのピース・ブック 1』

ポーポキ・ピース・プロジェクトのサポーターや YMCA のみなさまのお陰様でプロジェクトの方の本はどんどん少なくなってきています。一方、本屋の方はまだまだ余裕があります。みんなでポーポキちゃんの平和を広めましょう！

- ・ 最近の新聞報道
- ・ 朝日新聞(5.20)
- ・ 毎日新聞(5.24)
- ・ 神戸新聞 (6.7)
- ・ 中国新聞 (6.25) URL
- ・ 「CATS」8月号
- ・ 読売テレビ G+ (7. 24)
- ・ 「大阪 YWCA」2007.8/9
- ・ 「空」2号 (8月予定)
- ・ DEAR(開発教育)の ML(7.12)



ESD-J (ESD を推進してゆくためのネットワーク) が主催するネットワークカフェのレポート

### 神戸栄光教会でストーリーテリング

アレキサンダー先生のお話会

楽しかったね！

ライブラリアン 堀口香代子

6月24日の日曜日、待ちに待った日！ ロニー・アレキサンダー先生が栄光教会で、ご自分で書いた絵本「ポーポキ、平和って、なに色？」を読んでくださるお話会の日です。教会の図書室には 50 人以上の人々が集まって、子供達はアレキサンダー先生を囲んですわり、丁度、雛鳥が親鳥からおいしいものを貰う時の様に、首をのぼし



てお話を聞きました。

平和と言う言葉を口にするのは易しいけれど、説明するのはむづかしい。何だろう、平和って？ 猫のポーポキと一緒に、お話を聞いている子供達も考えました。平和の色は？ 臭いは？ 音は？ 形は？ うーん、今まで考えたことなかったなあ。先生の声は心に沁みて、私たちはいつの間にかポーポキになりきってしまいました。平和が求められているのに、平和を遠いところに置き去りにしている今こそ、こんな絵本が必要です。パ



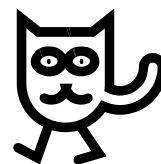
ステル・カラーのポーポキの世界は、「あなたにとって平和とは？」と問いかけてくれます。自分で考え、自分で平和を作る努力をしよう、とそれぞれの思いを抱いて、お話を終えました。後のサイン会、本の即売も大成功。7月終わりには、TVでこの時の様子が放映される予定です。アレキサンダー先生、有難うございました。

—おしまい—

### 京都国際マンガミュージアムでポーポキの紙芝居の可能性を



先日、京都国際マンガミュージアムで紙芝居師にヤッサンにお会いしました。とても感銘を受けて、今後ポーポキ紙芝居の可能性を探求したいと思いはじめました。ヤッサンとの会談報告は次号！



紙芝居師 安野侑志さん



## 教室の中のポーポキ



実は、ポーポキは色々な形で教室に登場します。このたび、大学院の講義でベラウ共和国の独立問題についてのロールプレイを実施しました。本来ならば役割が7つ（団長、賛成派3、反対派3）ですが、学生は16名もいました。立場を一つだけ増やすと、立場を示すのが難しい。そこで、TAの樋屋史子さんが次のように新たな役割を作ってくれました。その役割に当たった石井さんと仁木さんは少々戸惑ったようですが、楽しそうに取り組んでくれました。とってもすてきなキャンたちでした。（ロニー）

ベラウ問題調査団ロールプレイゲーム 役割8

ポーポキ（ネコ）

あなたはポーポキです。これまでにロニーと一緒にあらゆる形でネコの視点から平和のいろいろな側面について考えてきました。また、現代の紛争だけではなく、ピースマシンの乗って世界中の旅をしながら、津波や紛争、環境破壊や貧困、過去の戦争の事実などについても目を向け、さらにポーポキが中心となって立ち上げたピース・プロジェクトでは、出版された本やワークショップをもとに多くの人と一緒に平和について考えています。

あなたはツナ缶が大好き。日本で販売されているツナ缶の多くは太平洋島嶼国周辺の海域で獲られており、ミクロネシアの国々も今後の経済発展において漁業を重視しています。このベラウの問題を考えると、まぐろだけではなく、その他の魚、島に住むその他の動物の存在も気になります。

人間はいつも人間だけが安全ならいいという立場だと思います。でも、このベラウの問題だって、それは本当に人間だけでいいのでしょうか。ツナ大好きネコのぼくに何かできることはあるのでしょうか。



### 樋屋さん（TA）

今年の授業は私が受講した2年前の授業以上に笑いの絶えないものとなりました。それはロールプレイの中で学生が演じる人間役の中にポーポキという視点を入れてみたらどうなるのだろうという先生と私の興味本位から始まったのですが、実際に始めてみると役を演じた本人たちのみならず、参加した学生も楽しむことが出来ました。このように普段の生活のみならず授業の中にも登場するポーポキ、次はどこに現れるのでしょうか・・・。



### 石井さん・仁木さん (ポーポキ役)

ポーポキという役はとても難しいものでした。ポーポキは、どの立場にも属していない分自由な立場で発言できます。しかし、自分の所在が明確でないと、自由に発言できないということに気づきました。何に依拠して自分が発言すればいいのかわからず、ロールプレイの中ではマイノリティとしての立場でした。



石井ニャン↑

仁木ニャン↑

予想しなかったポーポキという役。初めは、どのような立場から、何を発言したらいいのか、わかりませんでした。しかし、どのような立場にも囚われない自由な発言をすればいい、と割り切るとその役割は楽しいものになりました。さらに、議論を賛成、反対のどちらからでもない立場から参加できたことで、議論を客観的にみることができました。

### ポーポキ、平和ってなに色？ 『ポーポキのピース・ブック1』 を読みました



私の平和運動の原点の一つはヒロシマ・ナガサキです。今回は反核運動の恩師一人、吉田一人さんの感想を紹介させていただきます。ぜひお読みください。(ロニー)

← 2006年8月6日8:30頃、原爆ドームの前でダイインした後、突発的にポーポキのDVDを学生に見せることになりました。

ロニー・アレキサンダー 様

『ポーポキ、平和って、なに色？』をいただいて、あとで感想を送ります、と言っておきながら、いつの間にか、今年も折り返し点を越えてしまいました。一応は大分前に書いておいたのに、ぐずぐずしてしまったのです。申しわけありません。

本をいただいてからずっと、「平和って、なに色？」と考えていました。冒頭の〈ポーポキの目は まっ青／海のように 広い空のように…／平和って青色かもしれませんね〉というのが、ぼくの実感にピッタリなのです。

原爆の長崎から脱出して、島原半島の海辺の故郷で迎えた 1945 年 8 月 15 日。正午の「玉音放送」はさっぱり聞き取れなかったけれど、戦争が終わったらしいことだけは分かりました。その午後、友人の家である旅館の手すりにまたがって、ぼんやりと海を眺めている 13 歳の自分の姿が、鮮明な記憶に残っています。わずかにたゞよう紺碧の海が広がっていました。“敵機”の爆音も、空襲警報を告げるサイレンの音も、まったく聞こえてこない。ただ、青い海だけ、でした。平和は青色—そのとおりで

す。  
「15 年昭和戦争」の発端となった「満州事変」(1931.9.18) から 86 日目にこの世に生を受けて、原爆、終戦まで、ドップリと戦争の色に染まって育ちました。徹底的にたたき込まれたことは「戦争は平和のため」であり「天皇陛下に命を捧げることが東洋平和を実現する道」だということでした。〈東洋平和のためならば、何で命が惜しかろう〉という歌がヒット曲になった時代です。「戦争」と「平和」は同義語だったのです。戦争すること、戦争に勝つこと、それだけが「平和」への道でした。

8 月 15 日の、爆音も聞こえない、静かな、青い海—それがまさしく「平和」だったのですが、一縷の不安がありました。「平和のための戦争」だったのに、その戦争で負けて、終わって、いったい「平和」はどうなるんだろう？ ぼんやりとしたままよく分かりませんでした。



戦争が終わった 8 月 15 日の色は、ぼくにとってはまぎれもなく「青」です。でも、決して一色ではないはずです。「平和の色」は、いろんな人にとって、それぞれの色だと思います。多色多彩こそ「平和」なのでしょうね。みんな違って、みんないい、でしょう。

戦争の色は「国防色」。カーキ色です。軍服も、徴用服も、そして、中学校の配給でやっと当たった学生服も、みんな国防色。国民みんな、同一色の服装でした。やっと着ることができた私の学生服も、雨中での軍事教練で、たちまち縮みあがってしまいました。

戦争のもうひとつの色は、赤。血の色です。日の丸は「血の丸」。「血の丸」はいま「美しい国」の“国旗”です。国防色も血に染まりました。靖国神社の遊就館に行けば、“血染めの国防色”がいくつもあります。

じゃあ、原爆はなに色？ 「ピカッと目の前が真っ白になった」と被爆者は言います。あれは「白」だったのか？ 違う。無色？ 無色、という色はない。あの一瞬、何にも見えなかった。無理に色にするとすれば「真っ白」というしかないだろうが、

正確に言えば「何にもなかった。色も」。

原爆には、色も何にもないのです。

何を書いているのか、分からなくなってきました。本の感想にもなっていないし、頭のなかも、色がなくなってきました。ごめんね、ポーポキ。

いよいよ真夏。8月もうすぐ。どうかお元気でご健闘ください。

では、また。

2007.7.6 吉田 一人

(写真: 島原半島の海 <http://www.taxagent.org/kantou/image/20010820/000/DSCF0072.JPG> より)



### お知らせ～今後のポーポキが登場するイベントなど

- ・ 7.14 YMCA 同盟 海外トレーニング
- ・ 7.31-8.9 YMCA 青年ピースキャンプ (東ティモール)
- ・ 8.10 ワークショップ
- ・ 8.19-23 神戸 YMCA グローバル・キッズ・キャンプ (余島)
- ・ 8.31 神戸海星病院 ポーポキ・ピース・ワークショップ
- ・ 9.17 東北アジアに平和を！ピース・フェスティバル2007参加
- ・ 10.6 ポーポキ IN 新潟

### ポーポキ・ボランティア募集中

日朝ネットが実行委員会形式でされているイベント「東北アジアに平和を！ピース・フェスティバル2007」(9/17)

日時：9月17日(月・休) 10:00～18:00

会場：神戸木材会館(神戸高速「新開地」西へ徒歩3分)

内容：映画「ディア ピョンヤン」上映、詩の朗読、一人芝居、モンゴル馬頭琴演奏、二胡演奏、朝鮮歌舞団の舞踏、チャング演奏、等々。

興味ある方は[popokipeace@yahoo.co.jp](mailto:popokipeace@yahoo.co.jp)へご連絡ください

# 私にとってのポーポキ

## ポーポキというネコ

真田康弘(アレキサンダーゼミ生)

ポーポキはネコである。したがって人間ではない。しかし人間ではないのに、ことばを話す。本の上では、とりあえず動くことはない。とすると自然の存在というわけでも必ずしもないだろう。

考えてみると、ネコという存在自体が、非-自然の存在だ。ネコ達は、自然から切り離され、人間の下で養育され、人間の暮らす環境下に馴致されたものである。しかし自然ではないとは言っても、勿論人間あるいは純然として人口の存在ではない。つまりネコ達は、自然の人間の狭間にある、そうした周縁に位置していると言えるのかもしれない。



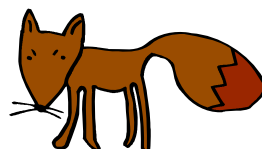
私達とそうでないほかの存在の、その両者の周縁に属している存在は、私達とそうでない他のものを繋ぎ、その橋渡しをしてくれる。例えば動物園の動物たち。動物たちは人間の飼育という介入によって、最早野生の存在ではなくなってしまうものの、動物園を訪れる私達に普段見ることのない動物の存在を教え、野生での動物たちの状態ひいては生態系への考えに私達を導いてくれる。



ポーポキは私にとって、そうした私と私ではない他のものとの間に介在する、そんな存在なのかもしれない。ポーポキはことばを話す、平和の色であるとか、音であるとか、匂いであるとか、人間が普通に暮らしているときには、まず耳にすることはない問いかけをする。そしてポーポキはとりあえず本の上では動かないかも知れないが、私達を動かす。そうすることによって、私達を日常では知覚することも思考することもなかった、他のものに対して眼差すように誘うのだ。

5月の晴れた日曜日、ポーポキは私を公園に連れて行った。最初はスケッチブックにいたポーポキが、今では本の上で皆との出会いを待っている。私はポーポキによって様々な人

たちが交流し、語り合う場をぱちぱちと写真に写して回ったのだが、そこには平和の色が少しは写し取られていただろうか。



### ポーポキ平和基金について

ポーポキ平和基金はこれからも活動の資金のためにご協力を呼びかけ続ける予定ですが、本の作成のための資金集めは、3月31日をもって、打ち切らせていただきました。ありがとうございました！



### さらにご協力ください！

ポーポキ・ピース・プロジェクトにご参加のみなさま(ポーポキ平和基金に一口以上を振り込んでいただいたみなさま)には、本がすでにお手元にとどいていると思います。

これからはピース・ワークショップ、ピースキャンプ、翻訳、『ポーポキのピース・ブック1』などの活動を中心に行なう予定です。ご協力、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。『ポーポキ、平和ってなに色?』についてのコメント、感想、追加注文などについては、[popokipeace@yahoo.co.jp](mailto:popokipeace@yahoo.co.jp)にお問い合わせください。

本についての問い合わせや注文はお近くの書店あるいはエピック

(TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918)へ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace@yahoo.co.jp](mailto:popokipeace@yahoo.co.jp)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

口座名称 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円。何口でも結構です。



**THANK YOU FROM POPOKI !**